

第3回北陸ロボシンポジウム

《北陸地域のロボティクス研究の情報共有とコラボレーション》

開催日：2025年12月19日（金）

開催場所：金沢大学 未来知実証センター 3F オープンフロア

本シンポジウムでは、北陸地域の大学と企業によるロボティクスの研究開発成果を紹介し、参加者間の交流とマッチングの機会を設けることを目的としています。

自由に意見を交わせる場で議論・デモを行い、地域内での共同研究の促進を測るとともに、北陸地域特有の課題を含めた様々な課題解決に貢献することを目指しています。

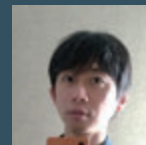
今回は“身体と知能のかかわり”、“産業へのAI応用事例”を中心とした発表が予定されています。
ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください！

オーガナイザー

Ho Anh-Van (JAIST)

渡辺 哲陽 (金沢大学)

鈴木 陽介 (金沢大学)



シンポジウム
WEBページ

講演&パネルディスカッション



- 各研究者が取り組む研究課題とアプローチ戦略の紹介
- 要素技術や活用事例の紹介

ディスカッション&コラボレーション

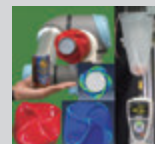


- 学生によるポスター発表、実機デモンストレーション
- コーヒーブレイク、フリーディスカッション

参考：前回(第2回北陸ロボシンポジウム)の内容 <https://sites.google.com/view/roboho2024-2nd/>

《講演》

小柳 健一『遠隔操作ロボットとリハビリロボットの関係』
西村 斉寛『最先端ロボットハンド：駆動源淘汰設計論による機能拡張ロボット機構』
Nhan Huu Nguyen『Unified Solutions for Visual-Tactile Perception
Transition toward Multimodal and Cross-modal Sensing Paradigm』
鈴木 陽介『触覚センサのロボット応用事例(ヘビ型(災害対応)ロボット、産業用ロボット、
ホームサービスロボット)』
辻 徳生『産業用ロボットの高度化の取り組み』
池 勇勲『積過酷な環境における移動ロボット』
渡辺 哲陽『布でできた流路による更衣支援』



《ポスター・実機デモ》

高速把持を可能とした過負荷防止ローラ指の開発
吸着面積が可変可能な吸着型ソフトロボットハンド
ROtation-based Soft grippEr (ROSE)
断面形状が変化するチューブに対して適用可能なソフトコネクタ
脳組織の破壊兆候を検知する小型レトラクタの開発
(ほか(計24件))